

令和5年度第1回箕面山ニホンザル保護管理委員会 会議録

日 時 : 令和5年8月28日(月)
開会 午後13時30分 閉会 午後14時15分
場 所 : 箕面市役所別館5階会議室C(対面及びZoomでのWeb会議)
出席委員 金澤 忠博 会長
梅原 徹 委員
氏橋 亮介 委員
室山 泰之 委員
服部 博之 委員
北川 咲子 委員
森本 茂司 委員
事務局 大倉 三男 子ども未来創造局天然記念物室長
荒木 裕介 子ども未来創造局天然記念物室
光吉 智恵実 子ども未来創造局天然記念物室

開会

(事務局)

箕面市役所子ども未来創造局天然記念物室の大倉です。いつもお世話になり、ありがとうございます。委員の皆様には、ご多忙のところご出席くださいますようお願いいたします。

本委員会は、「箕面山ニホンザル保護管理条例」に基づき、箕面山ニホンザルの保護管理に関する各種事業について、委員の皆様から必要な助言等をいただくため、開催させていただくものです。本日はよろしく願いいたします。

最初に年度当初の人事異動に伴い、委員の変更がございますので、新委員のご紹介をさせていただきます。事前にお配りしています「名簿」をご覧くださいと思います。

新委員といたしまして、近畿中国森林管理局京都大阪森林管理事務所所長「氏橋亮介」様です。氏橋所長、簡単に自己紹介をお願いいたします。

(委員)

ただいまご紹介いただきました、京都大阪森林管理事務所の氏橋でございます。国有林管理をいたしております、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございます。事務局は、野猿管理担当の荒木と事務担当の光吉が出席しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、本日は委員全員7名が出席し、会議は成立しております。また、傍聴者が1名おられますことを報告いたします。

それでは、金澤会長に会議の進行をお願いいたします。

(会長)

それでは、会議を進めます。「報告1 事業報告」について(1)、(2)の給餌場への入場状況について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料3～6ページです。この資料は、サル集団、F集団とL集団の位置同定として、餌場への入場状況を記録したものです。資料の3～5ページまでは、令和4年度の入場の状況です。×印は餌場に入場していないことを表していて、表の下に書いてある数字は、F集団、L集団がそれぞれ丸1日餌場に入場しなかった日数を表しています。秋は×が多いような状況ですが、例年と比べて大きな変化はありませんでした。

続きまして資料の6ページです。こちらは令和5年度の状況です。

ここで別紙の2といたしまして、A3カラーで事前にお配りしています、GPSによる位置同定という資料をご覧ください。これは、今年度から導入していますGPSのデータを集めたものです。上の2つがL群、下の2つがF群の5月6月の移動状況を表したものです。

基地局ですが、現在は箕面大滝の東側、地図の右側に雲隣展望台というものがございまして、池田土木事務所のご協力を得て、設置させていただいております。現在の行動データ取得時間は、4、6、8、10、12、17、19時というような時間設定で受信をしています。

首輪につきましては、F集団は中心から1番離れている群れのメスと、L集団は中心から1番離れている群れのメスに装着しています。現在はまだ、安定稼働というところまでいっていないので、安定稼働を目指して調整しているところで、来年度からはアンテナの電池等が改善されまして、30分毎にデータが取れるということですので、被害の未然防止等に大きく役立っていくのではないかと考えております。以上です。

(会長)

ありがとうございます。この件に関して、何かご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、次に（３）「令和４年度バースコントロールの実施結果」について事務局から説明をお願いします。

（事務局）

それでは、別の資料の１をご覧ください。２０２２年度バースコントロール実施結果ということで、前面にＦ集団、裏面にＬ集団の対象と実施日を記載しています。表のうち、×がついているもの、Ｆ集団の９番の個体は投与ができていないものです。あと、表の中で数字が記載されているものは、上段の指定日とは違う日に投与した数値です。

期間は、令和４年９月２１日から翌年３月２８日まで、バナナに避妊薬を入れまして、個体識別ができる職員により、週１回対象個体に投与いたしました。バースコントロールの対象となった個体で、翌年令和５年４月以降に出産した頭数は０頭だったため、成功率は１００％です。以上です。

（会長）

ありがとうございます。この件に関して、何かご質問等ありましたらお願いいたします。

それでは、次に（４）「生息頭数と出産状況」について事務局から説明をお願いします。

（事務局）

資料７ページ８ページです。まず７ページ、個体の出産数の８年間の推移を掲載しています。

今年度は、バースコントロールの対象外の個体から、Ｆ集団２０頭、Ｌ集団２２頭の計４２頭の出産がありました。参考までに昨年度は２３頭でありました。ニホンザル保護管理計画というものを教育委員会で策定しておりまして、目標として、最終生息頭数を１００頭以下まで減らし、自然に帰すということが大きな目標となっています。

８ページは、どの個体が出産したかという表になっています。以上です。

（会長）

よろしいでしょうか。このことについて、Ａ４横の資料をご覧いただきたいんですが、２００３年以降の箕面山サルの出生数をグラフにしたものです。バースコントロールの対象が最初２０頭からはじまったものが今では９０頭になり、バースコントロールを行うことによって、出生数が減っていったのがわかると思います。図２は出生率をグラフにしたものですが、バースコントロ

ールを行った場合の出生率と、未実施の場合の予測出生数を見ていただくと、かなり抑制できていることがわかれると思います。

では、このことも含めて、何か質問等ありましたらお願いします。

(委員)

すみません。基本的な質問で、マイクの音が途切れてしまったので、説明を聞き逃してしまったかもしれないんですが、バースコントロールを対象全個体に行って、年によって出生個体数にバラツキがある変動が起こっている。実施したことによる出生数の影響が、年によって違うものなんですか。

(会長)

バースコントロールを箕面山にいるすべてのサルに行っているわけではありませんので、バースコントロールを行った個体については出生数は0で、その他の対象外の個体で出産があったということです。

(委員)

ありがとうございます。

(会長)

よろしいでしょうか。他に何かご質問等ございますか。

そうでしたら、次に(5)「市街地等への出没状況」について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料は9ページ10ページです。まず9ページの方ですが、令和3年度と令和4年度の同時期の比較をしております。令和4年度は令和3年度に比べて「複数頭」「群れ」による出没が増加しています。

4番の箕面山荘・オヶ原、5番の滝道・大日パーキングは生息域内ですが、このあたりでちよくちよく出没している。また、10番の慶光霊園・永楽霊園は生息域から少し出た池田市にある霊園ですが、ここへの出没も増えているような状況です。

これまでになかった、少なかった場所として21番から24番箕面市の東部地域、新御堂筋よりも東の山側の地域へちよくちよく出没している状況です。

資料10ページをご覧ください。こちらは、令和4年度と令和5年度の6月30日現在の件数を比較したものです。令和5年度は逆に令和4年度と比較して、出没が減っているような状況になっています。令和4年度だけがこのよう

に比較してみると、出没したように見えるんですけどもこれは何か野猿担当から説明はありますか。

(野猿担当)

令和4年度は、ハナレザルが下がっていったということで比較的出没が多く見られたということで、令和5年度はその影響で4番5番に出ていないと思われます。以上です。

(事務局)

ありがとうございます。説明は以上です。

(会長)

ありがとうございます。この件に関して何かご意見やご質問はありませんか。よろしいでしょうか。

それでは次に(6)「猿害の状況」について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料11ページです。猿害の状況として、下止々呂美と墓地、こちらが例年のように猿害が出ているような状況で、令和4年度は約461,000円の被害となっています。以上です。

(会長)

ありがとうございました。この件に関して何かありましたらお願いします。よろしいでしょうか。では、次に「議案1 令和5年度バースコントロールの対象個体について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料は別冊の資料3です。令和5年度バースコントロール対象候補という資料をご覧ください。最初に、一番最後のページをご覧ください。

一番左側のメスの推定頭数が258頭、そのうち右側にいきまして2023年度黒枠のところをご覧ください。ここの一番右側に、BC可否とありますが、○はバースコントロールをしてもだいじょうぶという意味で、それが122頭あります。そのうちF群の対象が50頭、L群の対象が40頭。

バースコントロールの可否は、BC要件という記載があり、そこでメス個体が25歳以下であること、バースコントロールを6回連続でやっていないこ

と、初産ではないということ、0歳児を有さないという4つの基準があり、これをクリアしているものが先ほど言いましたBC可122頭という風にご覧いただきたい。

この内容については、事前に箕面の教育委員会から専門的な知見知識から助言いただき「箕面山ニホンザル保護管理専門員」に諮っていただき、ご了承いただいて、この委員会で決定いただくといった流れになっていまして、今回この会議の中でご決定いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(会長)

ありがとうございます。この件に関しまして、何かご意見ご質問ありましたらお願いします。

(野猿担当)

すみません、訂正があるのですが、バースコントロール対象一覧の中で、111番のところですが、こちら色がついていないんですが、対象となりますので、色をつけていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(事務局)

あと何か、個体選定で課題はありますか。

(野猿担当)

そうですね、対象の個体がどんどん少なくなっているというところでしょうか。

(会長)

個体数が減っていくようにバースコントロールをしていくわけですから、当然選定が難しくなっていくわけです。またそうなったときにどうするか策を考えていかななくてはいけないですね。

他ありませんでしょうか。それでは、本件を承認することといたします。

次に「議案2 F集団の分裂について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料11ページの一番下をご覧ください。F集団におきまして、数年前から餌場での餌の取り合いに起因して、次第に群れを離れる個体が発生しました。これらが約50頭になりますが、5月の連休明け頃からまた不安定になってきて、ここまで数ヶ月に渡って、群れに戻そうと担当が取り組んでいます。

が、さらに群れから離れるような傾向が見られるような状況です。

金澤会長にも現場を見ていただいているような状況で、これら個体につきましては、現在も監視や誘導を続けているところで、今後もこの取り組みは続けていきます。

しかし、もしこのまま群れに戻らなければ、関係機関と調整した上で猿害の未然防止のため、やむなく捕獲しなければならない状況に発展する可能性もありますので、このことについてご承認いただきたいと考えております。

特にこれは7月8月中旬くらいまでの状況ですので、最近の状況については野猿担当より説明をいたします。

(野猿担当)

ビワの時期であり、また発情もしてきているということで、コースが変わりつつあり、餌場への入場もこれから不安定になっていく可能性があります。また他の群れも不安定になることもあるので、群れのバランスも考え検討したいと思います。

(事務局)

本件は、なかなか動きが読めないこともあり、できるだけ長く群れに戻すよう取り組みを進めたいと思いますが、今後各委員のみなさんであったり、専門の先生方のご意見をいただきながら、サルへの対応を考えていきたいと思えます。以上です。

(会長)

この件に関して何かございますか。

このサルについては、テレメーターはついていますか。

(野猿担当)

はい、テレメーターはついています。位置はだいたい把握はしていますが完全ではありません。

(会長)

GPSをつけるということはしないのですか。

(事務局)

検討はしております。

(委員)

すみません、質問よろしいでしょうか。ハナレ集団は資料で言えば、どちら方向に離れているのですか。仮に有害鳥獣として捕獲をするならどこで行うのですか。

(事務局)

まず、ハナレ集団が出没している場所については、A3カラーの地図を見ていただきますと、左上に止々呂美IC付近と、ICから左側にある赤いライン周辺に出没しているような状況です。

捕獲場所については、まだまだこれから先生方のご意見を聞いてから、集団の通り道であったり、生息地内で行うのか生息地外で行うのかは、今後の検討課題であります。

(委員)

ありがとうございます。わかりました。

(会長)

よろしいでしょうか。それでは、本件を承認することといたします。他に何かございますでしょうか。

(事務局)

すみません、この会議はだいたい年2回開催させていただいております。次回は2月中に日程調整させていただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

(会長)

はい、よろしいでしょうか。特にないようでございますので、以上をもちまして、令和5年度第1回箕面山ニホンザル保護管理委員会を終了いたします。皆様、ありがとうございました。